

# 3年生対象 弁護士によるデート DV 予防授業



人権を守られるとは  
安心をして  
自信をもって  
自由に選べる  
こと

ひとりで  
悩まないで🎵

「DV」とは、英語のドメスティック・バイオレンスを略したもので、夫婦や恋人など親密な間柄で起こる暴力のことです。  
そのなかでも交際相手からふるわれる暴力を「デートDV」と言います。  
「なぐる・ける」だけが暴力ではありません。強い束縛で恐怖心を与えたり、心を傷つけることなども暴力にあたります。相手を思いどおりに支配しようとする言動や態度が「デートDV」なのです。

自分には関係ないと思いませんか？



- 身体的暴力： 殴る、蹴る
- 精神的暴力： 大声でどなる、人前でばかにする、見下す、殴るそぶりをする
- 社会的暴力： 友人と付き合うのを禁止する服装を指定する、電話やメールをチェックする
- 経済的暴力： パートナーのお金を勝手に使う
- 性的暴力： 嫌がっているのにキスや性行為を強要する

ある日の秋男さんと冬子さんの会話  
秋男「俺以外の奴とメールやLINEをするな。」  
冬子さんの携帯を勝手にと取り上げ、  
秋男「メールの履歴を削除しろ。」  
秋男「俺の前以外でスカートをはくな」  
\*冬子さんが嫌だと思っているけれど、  
「いや」だと言えない

何がいけなかったのか考えてみましょう。

憲法第13条  
すべての国民は、個人として尊重される  
誰もが個性ある人として人権(安心・自信・自由)を保障される。  
⇒個性を否定しない  
⇒多様性を受け入れる  
これが人権保障の大前提



嫌なことははっきり「いや」と伝えていいのです。お互いの気持ちを伝え合うことができればいいのです。  
相手と対等な関係を築けていることが健全と言えます。

好きなのに「なんだかつライ」「怖い」好きだから、嫌われたくないからといって、自分の気持ちをガマンしていませんか？  
交際しているからといって、行動のものさし基準を相手に合わせることはありません。自分のことは自分で決めていいのです。

## 性(セクシュアリティ)も人権

人として生きるために、絶対的に必要なもので、うまれたときから皆さんが平等に持っているものです。

それぞれの性が、等しく尊重されるべきで、性の平等的な行動を自分で選んで決めるのも自由です。

性は本来十人十色ですが、社会の中には、これが普通、こうあるべきと言われる性のあり方があり、それとは異なる性のあり方をしている人は、「セクシュアル・マイノリティ」と呼ばれることがあります。

セクシュアル・マイノリティを指す表現のひとつにLGBTがあります。

- L「レズビアン(女性同性愛者)」
- G「ゲイ(男性同性愛者)」
- B「バイセクシュアル(両性愛者)」
- T「トランスジェンダー(性別越境、性別違和)正しい知識が必要です



2022.3.8

やってみよう！  
ここは日本初上陸の生地からカスタマイズできる本格ナポリピッツァ店。



二人で相談して注文するピザを決めてください。

